

affiliated with the International Association  
THE Y' S MEN' S CLUB OF TOKYO HACHIOUJI  
Chartered October 30, 1994



〒 192-0911  
東京都八王子市打越町 334-2-5-201  
花輪 宗命 TEL & Fax : 042-636-6157  
E-mail : hanamate@rk9.so-net.ne.jp

2021年 1月

第307号

The Service Club of The YMCA

## 東京八王子 ワイズメンズクラブ

会 長 花輪 宗命  
副会長 山本 英次  
書 記 長谷川あや子  
会 計 小口 多津子  
直前会長 並木 信一  
担当主事 中里 敦  
ブリテン 山本 英次・茂木 稔  
大久保 重子

国際会長 Jacob Kristensen(デンマーク) 主題 価値観、エクステンション、リーダーシップ スローガン「命の川を信じよう」  
アジア太平洋地域会長 David Lua(シンガポール) 主題:「変化をもたらそう」  
スローガン:「奮い立たせよう」  
東日本区理事 板村 哲也(東京武蔵野多摩) 主題:「変化を楽しもう」  
副題:「助け合い、分かち合い」  
あずさ部部长 御園生 好子(東京サンライズ) 主題:「変わるに挑戦!」  
クラブ会長 花輪 宗命 主題:「すべてに感謝」

### 1月例会プログラム (ZOOM 併催)

日 時: 1月 23 日(土曜日) 18:00~20:00

場 所: 北野事務所 2階大会議室

(担当C班 山本、大久保、茂木、並木(信))

受 付: 山本・大久保

司 会: 並木(信)

開会点鐘 会 長

ワイズソング 一 同

ワイズの信条 一 同

ゲスト・ビジター紹介 会 長

聖書朗読・開会祈祷 司会者

卓 話 「コロナ禍のフードバンクが映し出す

日本社会の貧困」

NPO法人「フードバンク八王子えがお」

理事長 佐野 英司 氏

スマイル 大久保

ハッピーバースデー 会 長

報告・連絡事項 会長、各担当

閉会点鐘 会 長

### 巻頭言

#### 2021 年の幕開きに寄せて

花輪宗命

ワイズメンの皆様、明けましておめでとうございます。八王子クラブは、今月から 2020 年度の後半に入りましたが、私たちの身の周りには、相変わらず不安な空気が漂っています。しかし、私たちは、新しい年も、(主のお導きに従って)互いに手を取りあって、心穏やかに歩みを続けましょう。

私がおその思いを強く持ったのは、昨年末の八王子クラブのクリスマス例会とその後の懇親の夕べに参加してからでした。

第1部のクリスマス例会では、並木信一前会長が、「響き合う心」と題する奨励で、1955年当時の武蔵野YMCAが視覚障がい者のために進めた運動のエピソードを紹介して、お互いが手を取り合って、行く手に立ちほだかる障壁を乗り越えて途を開いていったことの意義を話してくれました。

#### 先月の例会ポイント(12月)

在籍	13名	切手(国内・海外)	1,000g
メン	12名	累計	1,607g
メーキャップ	0名	現金	0円
出席率	92%	累計	0円
メネット	2名	スマイル	17,500円
ゲスト	2名	累計	59,050円
ビジター	4名	オークション	0円

#### 今月の聖句(2021年1月)

私たちは、今は、鏡におぼろに映ったものをみっていますが、その時には、顔と顔を合わせて見ることになります。私は今は一部分しか知りませんが、その時には私が神にはっきり知られているように、はっきり知ることになります。それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残ります。その中で最も大いなるものは、愛です。

(新約聖書・コリントの信徒への手紙 — 13:12~13)

例会に続く第2部では、会食の後、永町匡世さんのピアノ・コンサートを堪能しました。永町さんは、八王子クラブの平均年齢を考慮して、テネシーワルツをはじめ懐かしい曲目の数々を演奏してくれましたが、私にとって、圧巻は、最後の2曲：「主よ人の望みの喜びよ」と「アメージンググレイス」でした。

「主よ人の望みの喜びよ」は、1723年イギリスの女流ピアニスト、M. ヘスによってピアノ独奏曲に編曲されて有名になった曲ですが、原曲は、ルター派プロテスタントの聖トーマス教会(在ライブツヒ)の楽師長だったJ. S. バッハが作曲した教会カンタータ第147番の締めくくりの讃美歌です。

第6曲と第10曲のコラールでは、思い合う私たちの心を癒やし、慰めてくれる主への想いが諄々と歌われるのですが、バッハが、その詩に相応しい心洗われるような旋律を着想し、喜んで妻のアンナ・マグダレーナに伝えると、アンナは「神様の贈り物ですわ」と言って祝福しました(「アンナ・マグダレーナ」の日記より)

私は、この讃美歌のベースにあるのは、聖書のペトロの手紙・第5章第7節の「思い煩いは、何もかも神にお任せ下さい。神が、あなたの方のことを心にかけて下さるからです。」ではないかと思えます。それは、ルターが、この第7節に準えて、「思い煩いをやめなさい。あなたにとって不本意なことが多くて克服しようとするのは一切やめて、その思いをそのままにして、神に祈りを求め、あなたが悩んで片付けようとしているすべてを、神がととのえて下さるようお願いなさい。そしてあなたは、自分の気がかりを思い切ってお任せすることのできることに感謝しなさい。」と言っているからです。

一方、「アメージンググレイス」は、日本では本田美奈子さんの美しい歌声とともに大変人気がある曲ですが、原曲は、イギリスの牧師ジョン・ニュートンの作詞による讃美歌です。J. ニュートンは、商船の指揮官であった父について船乗りとなりましたが、所謂「奴隷貿易」に携わり富を得ていました。しかし、ある時、彼が乗っていた船が嵐に遭い、遭難しかかり、ニュートンが幼い時に亡くなった敬虔なクリスチャンだった母の教えを思い起こし、心の底から神に祈ったところ、運良く難を逃れました。彼は、それまでの黒人奴隷に対する悪徳にも拘わらず彼を救ってくれた神の「驚くべき恵み(＝アメージンググレイス)」に感謝して、その後船を降り、牧師となってから、この詞を書き、いくつかの讃美歌として遺しました。

2020年は、全世界で「新型コロナウイルス」が猖獗を極め、ワイズメンの活動にも幾多の障害が発生しました。八王子クラブでも、例年の年度の折り返し点でもあるクリスマス例会の時期が近づいてくる頃になって、第3波かと不安を煽るような感染爆発の兆候が見られるようになりました。

私は、如何に大切な行事とはいえ、会員の身の安全を確保するためには、クリスマス例会の開催は避けなければならぬかと、最後の最後まで迷い、悩みました。

しかし、徒におそれおののくことなく、神のお加護を信じ、十分な備えと、心構えで臨み、思い切って開催に踏み切ったところ、静かな中にも会員同士の心が響き合うクリスマス会が実現できました。

八王子クラブの2020年度の後半と2021年のスタートを前に、私たちは、これからも、互いに手を取りあって、心穏やかに歩みを進めれば良いのだ、とのメッセージを頂いたのだと思いました。

## ＜寄稿＞

### 新しい年のスタートにあたって

#### — 「ワイズ読本」のお奨め —

田中博之(東京多摩みなみ)



あけましておめでとうございます。新しい1年が希望に満ちた年となることを心から願っています。昨年もまた東京八王子クラブのクリスマス例会に出席させていただいて、一緒にクリスマスを祝うことができたことを感謝申し上げます。

また、東京YMCA 西東京センターのプログラムで一緒したり、東京多摩みなみクラブの例会や活動にも多くの方々にご参加いただいたり、コロナ禍の中にあっても親しい交わりが維持できたことも大変嬉しく思っています。八王子市民のひとりとして、また、近隣クラブのメンバーとして、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、私は、ワイズに入会して満20年となりました。東京YMCAの委員としての活動の中で東京クラブに誘われ、入会しました。クラブでは、ワイズの理念、ワイズメンとしての在り方、クラブ運営の基本について教えられ、鍛えられましたが、とりわけ、私がワイズ活動に深く関わるようになり、また、今にいたるまで継続して奉仕を続けられているのは、「ワイズ必携」との出会いでした。これは、2001年に西日本区が編纂・発行したワイズ活動の手引き、指針ともいべき文献集で、ワイズダム、ボランティア、クリスチャニティー、YMCAとの関わりなどさまざまなテーマでの先輩諸氏の解説、メッセージが掲載されていて、何度も何度も繰り返し読み込み、ワイズへの思いを強めさせてくれました。ワイズ活動に悩みが生じた際も励ましと解決のヒントを与えてくれました。

「ワイズ必携」は、絶版となりましたが、その後継として「ワイズ読本」が2008年に東西日本区の合同委員会によって発刊されました。編集長は、残念ながら昨年5月に亡くなられた京都キャピタルクラブの岡本尚男さんと、私も東日本区の代表として副編集長を務めました。「ワイズ必携」の趣旨を受け継ぎ、若い方々にも執筆いただき、時代の流れに沿ったテーマも加

えました。発刊当時の全メンバーに配布し、また、発刊時以降の全ての新入会員の入会キットにも入っていますので、皆さんお持ちのことと存じます。新しい年のスタートにあたって、ぜひもう一度目を通していただき、ワイズ活動への栄養補給を行っていただければ幸いです。特に岡本さんの「ワイズメンズクラブが生き続けるために」と、鈴木功男さんの「ワイズの真髄をたずねて」は、私たちが更に発展を目指していくにあたって、共通の土台を確かなものとさせてくれる、ワイズ全員に読んでいただきたいものと思います。

## 謹賀新年

花輪宗命

持続可能な発展に向けて前進する年となりますように

昨年は先が見通しにくい1年でした  
新年は環境と調和し満たされた日々を  
未永く望める方向に転じる年になるよう祈ります  
本年もどうぞよろしくお願ひいたします

2021年 元旦



## 新年一言メッセージ

並木信一

昨年末(12月13日)、私の属する、日本キリスト教団八王子ベテル教会の自前のチャペルの献堂式が行われました。陣馬街道に面し、敷地約60坪、建物約24坪の小さく可愛らしいチャペルです。クリスマス礼拝、クリスマスイブ礼拝は、念願であった新会堂でもつことができました。現在、会員は僅かで、通常の日曜礼拝の出席者は牧師を含めても平均で10~12名です。それでも、地域の主要道路に面してこれまでなかった教会が忽然と現れたのを目にした方が、一人、二人と訪れ、礼拝に参加してくれるようになりました。新しい年、教会が地域に受け入れて頂けるよう、工夫、努力をしたいと思っています。フォーマルでも、インフォーマルでも、八王子ワイズの皆様、教会を訪ねていただけると幸いと持っています。

“愛と協力をモットーに”

長谷川あや子

7月からあずさ部部長としてのお役が始まります。すでに準備は始まっていますが、このコロナ禍の状況ですのでいつもの年のようにとはいかなくなりました。あずさ部10クラブの訪問は出来るのか?評議会は?部大会は?と不安

要素は大きいのですが、こんな時だからこそ一人一人の思いを大切に、“愛と協力をモットーに”活動していきたいと思ひます。思いがあれば工夫も生まれます。ステイホームの間、1997年から現在までのあずさ部の資料と八王子クラブのプリテンを全部読み返しました。胸が熱くなりました。一年間、この熱を抱いて歩んで参りたいと思ひます。

「夜は明ける」とは

小口多津子

今年こそは、「夜は明ける」を祈りつつ、何とか気を取り直して、この1年を頑張りたいと思ひます。時間が余ると今後のワイズ課題とはなど、いつもは考えないことをふと思ひてしまいました。これまでの奉仕や親睦だけではないクラブでありたいと考えたことは、今必要とされている「共生のSDGs」を願う思ひでした。あちこちで盛んに言われている言葉です。今だから出来ること、この年齢だから出来ることなのではと思ひます。まず地域的に足元の八王子から始めて、助けて欲しい人に近づく気持ちで、その関係者の話を聞き、クラブで出来る事を見付け、そして私達が培ってきた、精神や力量の範囲で応じること。こんな事を今年こそ、このメンバーで考えていきたいと思ひます。

2021年度に向けて

久保田貞視

昨年度は3月よりコロナ禍でワイズの対外交流を含む主な行事は中止となり、オンラインや書面での会合、クラブ内でも6月は野外で例会、7月からはマスク着用で3密に注意して例会は継続してきました。前半は花輪会長を全面サポートし、来年7月からの新年度はあずさ部部長に長谷川あや子さんが就任し、部長クラブとしてあずさ部を牽引することになりますが、部としてのすべての行事を従来通り消化することは困難かもしれません。しかし、山本英次次期会長を中心に長谷川部長を盛り立てて、あずさ部全体の発展のために何が出来るか十分協議し、目標達成のために努力することが必要です。クラブ全員が知恵を出し合っでクラブの方向づけとあずさ部の未来を展望しましょう。

次期クラブ会長への戦き

山本英次

短期決戦とはいいながら、クラブ会長職の重責は気持ちの上で大きな負担を感じております。昨年の早くから次期会長をお約束しており、責任上いい加減なことは出来ない、身の整理を密かに始めておりました。地元老人会の会長職の辞退。160名の会員を擁する大きなクラブの運営は大きな負担を感じており今年の4月の任期で退任を表明しました。しかし、後任会長の育成が出来ていない事で退任を認めてもらうことが出来ずに再任されてしまった。加えて、日野プロバスクラブの全国評議会理事就任も悩みの種であります。

歴代会長の見事な仕事ぶりに感嘆しているだけでなく心して任に当たらなければならぬ事を肝に命じてる。

## 西東京センター便り

西東京コミュニティセンター センター長 中里 敦

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

昨年末の西東京センターでは、水漏れ事故にあらハプニングがありました。2階の改修工事の際に誤って水の配管を壊してしまい、階下のセンターに流れてきてしまったのです。山手で会議中に連絡をもらいその後すぐに様子を見に行きました。カーペット・天井の約半分、コピー機(プリンター・FAX 兼用)、書類等が被害にあっていました。私も直ぐに雑巾を持ち床の水を吸い取っては絞りの繰り返しをしました。もちろん誰も仕事はできない状況でした。事故を起こした工事業者の方も一緒に復旧に向けて、申し訳なさそうに手伝っていました。みなさんならこんな時どうするでしょうか? 雑巾を絞りながらこんな時どのように対応するか人柄が表れると感じました。他の Y のスタッフ全員が、起こった目の前の現実を受け入れ、業者も故意に起こしたものではないことから、誰を責めるでもなく一生懸命復旧作業をしていました。時には冗談も言いながら作業をしている姿を見て YMCA らしいと感じました。事故を起こした人を責めるのではなく、起こしてしまった人の気持ちを感じながら、自分がしたらどんな気持ちだろうと思ひながらその場を過ごしていたのです。まあ、被害が大きかったので諦めもあったと思いますが、コピー機が使えなくなる、天井、床の張替え等被害は大きかったです、その後の先方の対応も真摯で保険が適用され、逆にリフォームをする感じでセンターはきれいにかなりそうです。

年末の大騒ぎにスタッフの人を思いやれるちょっとほっこりする姿を見ることができました。今年はきっと良いことがあるでしょう!

## ひつじぐも便り 1月

国際ボランティアサークル ひつじぐも  
ワイズ係 渡辺伊純

新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり、ありがとうございました。ワイズメンズクラブの皆様へ直接お目にかかり、新年のご挨拶ができず残念です。昨年は新型コロナウイルスの流行により生活が一変した1年でしたが、今年は収束を願ひ明るい1年にになりますようお祈り申し上げます。

私は 2021 年度、ひつじぐもの委員長に就任することになりました。対面活動の再開が見込めない状況ではありますが、2021 年度もオンライン活動と対面活動を併用しながらボランティア活動を行っていききたいと思います。ひつじぐもを学年や学部・学科の垣根を超えた活動にしたいと思っています。そのため、今年は、ひつじぐものメンバーが交流できる機会や場を積極的に設け、アットホームな雰囲気のサークルにしていきたいです。

また、2021 年度は国連サミットで採択されたSDGsに関連した活動をひつじぐもで行いたいと考えております。昨年は、海洋プラスチック問題を取り上げ、海の豊かさを守るという14項目目の目標にコミットした勉強会を実施しました。本年度は、普段のボランティア活動では考える機会の少ない、ジェンダー問題や教育問題について議論し合い、新たなボランティア活動へと繋げていきたいと考えております。

大学からは依然として、対面活動が禁止されオンライン活動が原則となっております。ワイズメンズクラブの皆様とお会いし、素敵な卓話をお聞きすることができる例会への対面参加が許されずとても残念です。制限が緩和され、皆様と直接お会いできる日を心待ちにしております。

本年は委員長として気持ちを新たに全力で取り組んでまいりますので、これまで同様のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

### 今月の聖句によせて (2021 年 1 月)

昨年は、新型コロナウイルスによって、これまで経験しなかったような、悲しいこと、辛く、心寒くなるようなことに出会い、見・聞くことが多くありました。そして、コロナ禍は、新しい年を迎えても収束することなく、続いています。悲劇は、社会の最も弱い人々を襲い続け、そして、脆弱な社会的な仕組みを浮き彫りにしています。家や仕事を失い、食べ物にも事欠く人々の多いことが連日報じられ、また、身近にも目にすることが多くなりました。

元日の新聞の見出し、「雇い止めで住まいを失い所持金 2,000 円」、「困窮者の緊急相談会 食料・宿泊支援」、記事に、「千代田区の、聖イグナチオ教会で“年越し大人食堂”を開催、手作りの約 200 食を提供する。」等。他方、「高校生、マスクホルダーの贈り物」、「全力で仕事してくれる人に何かしたい」、といった心温まるエピソードも。

新型コロナウイルスは、日常、漫然と見過ごしてきた様々な大切なことに気づかせてくれてもいます。例えば、失われると知ってからこそわかる「人と人の触れ合いの大切さ」であったり、人間にとって、「真に大切なこと」は何かへの気づきであったり。

聖書は、体は一つの部分ではなく多くの部分でなっており、一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのだと伝え、コロナ禍の今に最も考えるべき、人々の支え合う心と行いの大切さを教えています。そしてさらに、大切なものの中でも最も大切なものは「愛」と説いています。

今、私たちのなすべきは何で、できることは何なのでしょう。

並木信一

## コロナ禍の中のクリスマス

長谷川あや子

我がクラブのクリスマス例会は24年間も八王子市の大学セミナーハウスで行われています。12月の担当班は早くも5月には会場予約を入れ、第二部の懇親の夕べはどんな趣向にしようかと思いを巡らせます。例年ですと中大ひつじぐもの皆さんが大勢参加して歌やゲームで盛り上がるのですが、今年はコロナ禍のため残念ながら中大生は不参加となりました。開催そのものも不安でしたが、やはりクリスマス例会は集まりたいという希望が強く、永町さんのピアノ演奏を心ゆくまでお聞きしたい、心温まる夕べにしたいという皆の思いがひとつになりました。

第一部は並木信一メンの奨励「響き合う心」・・・

武蔵野YMCAのプログラムに集う女性たちと視覚障がい者の皆さんとの交流のお話でしたが、神さまは小さな群れのひとつに奇跡を起こして下さい、と感銘を受けました。第二部は会場を多目的ホール(旧食堂)に移し、懇親の夕べです。三密を避けた広いテーブルに3人掛けでお弁当を頂きました。豪華で美味しく大満足でした。その後はお待ちかねのピアノ演奏のひとつです。永町さんが心をこめて選曲して下さいた曲の数々～テネシーワルツに始まり、懐かしい名画「ひまわり」の哀切なメロディ、筒美京平の「また逢う日まで」「ブルーライトヨコハマ」～最後の「アメージンググレイス」が聞きたくて会の終わりまで残った人もおりました。

12月のハッピーバースデーはビジターの田中博之さん(東京多摩みなみ)でした。去る11月15日に西東京センター主催の「ペタペタの会」があり、紅葉真っ盛りの昭和記念公園を散策したのですが、歩きながら田中さんや綿引さん、藤田さんに「八王子クラブのクリスマス例会にいらっしゃいませんか」とお誘いしたところ、快く参加のお返事を頂いたのでお会いするのを楽しみにしておりました。八王子市にお住まいですので是非これからもお互いにクラブ訪問出来たら楽しいと思います。本当に素晴らしいクリスマス例会でした。

## 高尾の森わくわくビレッジ便り

高尾の森わくわくビレッジ館長 菅野牧夫

新年あけましておめでとうございます。昨年4月にわくわくビレッジの館長になって早9ヶ月が過ぎました。昨年は今までの日常と全く違うことがたくさんありましたので、「私とわくわくビレッジ」のニュース10(テン)を作りました。

1. 館長就任 館長の一声で良い方にも悪い方にも転んでしまうので、ぶれない意志と一言の重大さをひしひしと感じています。
2. わくわくビレッジが休館になりました コロナウイルス感染の緊急事態宣言を受けて、4/4～5/27の約2ヶ月が休館となりました。開館以来こんなに長い休館は初めてのことです。
3. わくわくビレッジ再開に向けコロナ対策を策定しました お客様の負担ができるだけ少なく、安全を保つための対策を作るのは難航しました。
4. 夏休みが静かでした 例年ですと毎日子どもたちの笑い声が聞こえているのですが、声が聞こえない日もありました。
5. お客様も悩んでいます キャンセルしたり、宿泊から日帰り利用に変更したり、スタッフたちも翻弄されました。
6. 初めてのリモート会議 報告だけであればリモート会議も良いと思いますが、協議では空気感が伝わらないと感じるのは私だけでしょうか？
7. インスタグラムに挑戦 新規顧客獲得のためにわくわくビレッジもインスタでアピールを始めました。
8. ビオトープかいりぼり作業 かいりぼり作業は重労働でした。腕、腰、腿の筋肉痛が2、3日抜けませんでした。
9. 会合が無くなりました 思い返してみると昨年2月から会合でお酒を飲んでいないことに驚いています。
10. ワイズに入会しました 新しい仲間ができ、楽しみが一つ増えました。

今年はコロナウイルスが少し落ち着き、日常が戻ってくることを祈っています。



## 例会報告 12 月度

〈報告〉

### 2020 年 12 月第一例会

日時:2020 年 12 月 12 日(土) 17:00~20:00

会場:八王子大学セミナーハウス(担当 B 班)

出席:菅野・久保田・小口・中里・並木信一・  
並木真・長谷川・花輪・福田・茂木・望月・山本  
メネット:久保田・並木

ゲスト:永町匡世さん・酔屋善元さん

ビジター:田中博之さん・藤田智さん・恵美さん・

綿引康司さん 以上 20 名

第一部:クリスマス例会(交友館セミナー室)

司会ー並木真メン、奏楽ー永町匡世さん

奨励ー並木信一メン

東京 YMCA 報告:11 月 15 日にペタペタの会で昭和記念公園  
を散策~たましん美術館

第二部:懇親の夕べ(本部多目的ホール)

司会ー久保田貞視メン

♪ ピアノ演奏 永町匡世さん

・スマイルは「多摩いのちの電話」のために 17,500 円を寄付

### 2020 年 12 月第二例会

日時:2020 年 12 月 26 日(土) 18:00~20:00

会場:北野事務所小会議室①(担当 B 班)

出席:小口・長谷川・久保田・花輪・並木真・  
並木信一・茂木・山本 (8 名)

〈協議事項・今後の予定〉

・在京ワイズ合同新年会(1 月 9 日)は中止

・1 月第一例会:1 月 23 日(土) 18 時~

(担当 C 班) 北野事務所大会議室

卓話:フードバンク八王子えがお佐野英司氏

・2 月第一例会:2 月 27 日(土) 18 時~

(担当 A 班) 北野事務所大会議室

・あずさ部第 2 回評議会:2 月 13 日(土)

・第 23 回チャリティコンサートについて

3 月 13 日(土) 14 時~16 時北野市民センター

○チラシ、チケットをメンバーに配布

○役割分担表配布・検討

スマイルポイントの訂正 小口会計

7 月入金 7,300 円・・・ 累計 7,300 円

8 月入金 0 円・・・ 累計 7,300 円

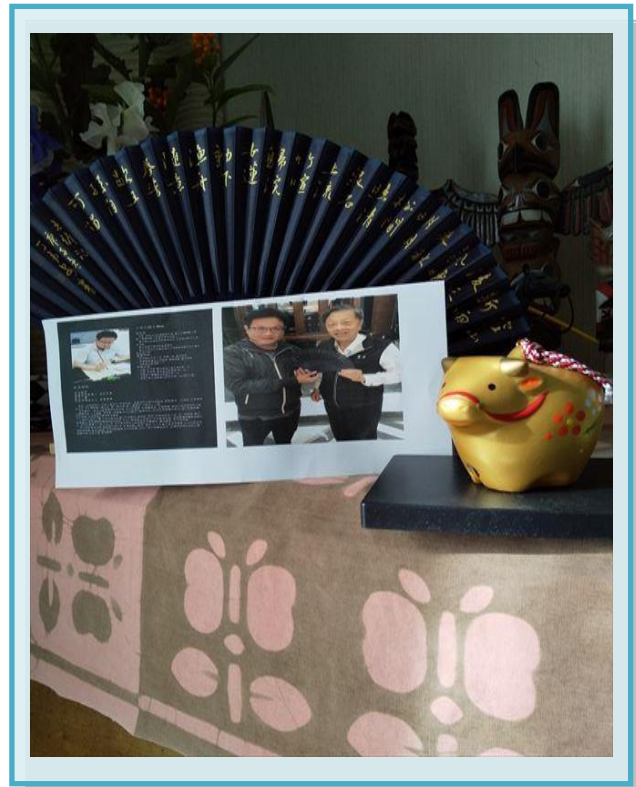
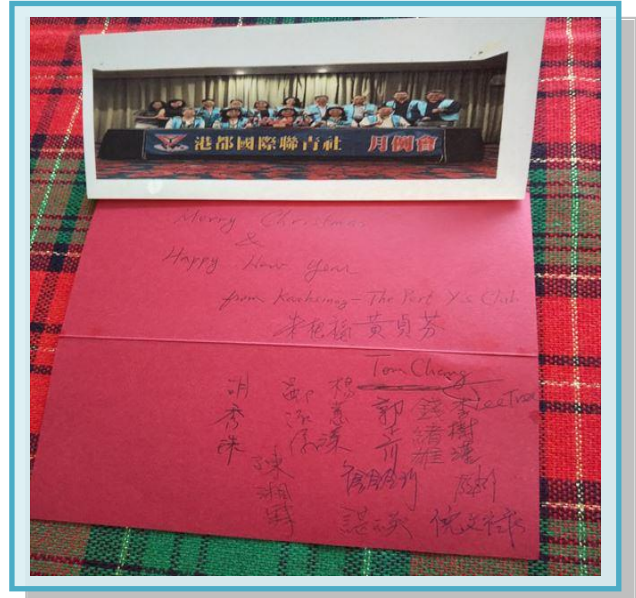
9 月入金 1,0150 円・・・ 累計 17,450 円

10 月入金 12,200 円・・・ 累計 29,650 円

11 月入金 11,900 円・・・ 累計 41,550 円

12 月入金 17,500 円・・・ 累計 59,050 円

## 台湾・高雄ポートクラブより



## 1 月の誕生祝い

1 月 20 日 並木信一さん